

子どもたちを「巻き込む」!!

- 学習面においても生活面においても
- 子どもたち同士が関わる事が大切
- なのではないかということを感じました。
- 昼休みに遊ぶ時なども、なるべく多く
- の子に声をかけ、一緒に遊ぶように
- しています。外で鬼ごっこを
- していると、他のクラスの子
- や1年生もまぎれてくるこ
- ともあります♪

学校ボランティアは



「学び」がいっぱい



学校ボランティア通信
臨時特別号!!

発行者
宗像 梨奈

子どもたちも
私も楽しみに
している給食♡

「先生」と呼ばれること



学校ボランティアを始めてから、「先生」と呼ばれることが多くなりました。「先生」と呼ばれるたび、嬉しさと責任を感じています。私がよく気になって声をかけるようにしていたH君、私が注意することが多くなっていったためか、話しかけてもあまり嬉しそうにはしていませんでした。H君のよいところをしつかり褒めようと心に決め、接していくようにしました。するとある日、H君から「先生、これ見て」と話しかけてきてくれました。少し時間はかかってしまいましたが、ようやくH君の視界に入れたような気がします。思えば、H君から「先生」と呼ばれたのはそれが初めてでした。「先生」と呼ばれてこんなに嬉しいと思ったのも、学校ボランティアをやっていたからだと思います。

はるかさんと活動日が同じ日には、2人でカンファレンスを行います! 活動でのお互いの悩みなども話せちゃいます♡

私のホームグラウンドである2年3組の子どもたちは、とてもエネルギーです。時にはこんな真剣な姿も...!!

子どもたちの関心は、どこにあるのか??

その子が何を好きなのかということは、今まであまり意識してこなかったということを実感しました。アートフェスタという行事では、子どもたちが図工で描いた絵や、その他様々な作品が飾られていました。それらの作品を鑑賞する授業があったのですが、ある一人の子が「つまらない」と言っていました。私はその時その子に上手に声をかけることができませんでした。もしその子の好きな色や動物などを聞き出していたら、鑑賞につながっていたかもしれません。子どもたちの関心から、児童理解につなげていきたいです。

